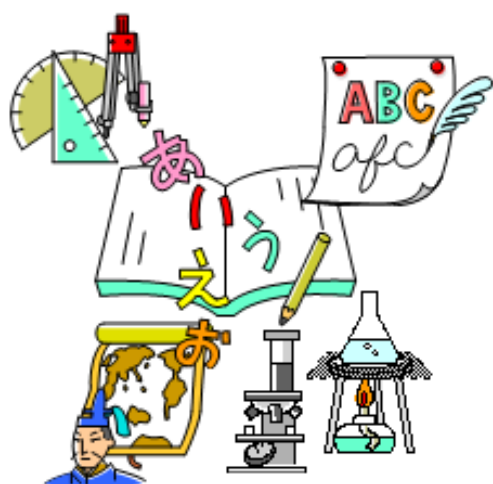


令和8年度
鈴鹿市立天栄中学校

2年生

シラバス



2年	組	席	名前
----	---	---	----

シラバスとは

授業は、各教科の年間計画に基づいて実施されています。年間計画は、文部科学省が規定する学習指導要領に基づいており、時には、教科書とは違う内容を学習することもあります。この年間計画を事前に伝え、自主的に学習できるように、シラバスを配付しています。

シラバスの中には、授業の年間計画のほか、評価の観点、授業の受け方、各教科の単元内容とその単元のねらいなどが書かれています。このシラバスを活用して、計画的に学習する習慣をつけてください。

よくわかる授業の受け方
◎授業の内容をよく理解するためには、準備が必要です。 ①チャイムが鳴ったらすぐ席に着き、授業の準備をする ②授業に必要なものは、机の上に出し、すぐに使えるようにする ③忘れ物をしない ④宿題は必ずやる ⑤予習・復習をする習慣をつける
◎積極的に授業に参加しましょう。 ①手を挙げて、自分の意見を発表する ②活動や実験・実習には、積極的に取り組む ③ノートはきちんととる ④授業での「めあて」を意識して授業を受け、授業の終わりには必ず「振り返り」をする

よくわかる授業の受け方
①授業の内容を理解するのに、家庭での学習を欠かすことはできません。必ず、家庭学習の時間を 作ってください。最初は面倒でも、続けていけば習慣になります。
②宿題は必ずやりましょう。宿題は、その日に習ったことの復習や、次の授業に必要な準備です。宿題をしていないと、次の授業に差し支えるので、取り組む習慣をつけましょう。
③予習では、自分でできることに取り組みます。語句や単語の意味を調べたり、本文をノートに写したりするとよいでしょう。
④暗記が必要な科目では、復習が有効です。今日習ったことは今日のうちに復習しておきましょう。また、授業中にとったノートはそのままにせず、自分なりにまとめ直してみると、内容が整理できて、理解が深まります。
～家庭学習は、自分のペースで行えます。計画を立てて、実行してください～

	1年	2年	3年
国語	140	140	105
社会	105	105	140
数学	140	105	140
理科	105	140	140
音楽	45	35	35
美術	45	35	35
保健体育	105	105	105
技術・家庭	70	70	35
英語	140	140	140
道徳	35	35	35
特別活動	35	35	35
総合	50	70	70
合計	1015	1015	1015

中間テスト	5月21日木	5月22日金	
期末テスト	6月17日水	6月18日木	6月19日金
中間テスト	9月24日木	9月25日金	
期末テスト	11月25日水	11月26日木	11月27日金
学年末テスト3年	1月12日火	1月13日水	1月14日木
学年末テスト1・2年	2月24日水	2月25日木	2月26日金

教科名	学年	週時間数
国語	2	4

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	国語2（光村図書） 中学書写 一・二・三年（光村図書）
副教材	漢字と語句（五ツ木書房）国語スイッチ2（正進社）学習の達成国語2年（新学社） つまづかない文法の学習（新学社）新・国語の便覧（正進社）

指導の重点	言葉による見方・考え方 表現力 知識技能
教科のねらい	・授業に積極的に取り組み、国語を意欲的に学ぶことができる。 ・自分の見方や考え方を深め、表現の仕方に注意して話し、聞き、書くことができる。 ・様々な文章を読み、目的や意図に応じて読み取る能力を育てる。 ・国語の基礎的な事項や知識を身につける。 ・書く力をつける。 ・人の話を聞き、的確に受け答えできる力をつける。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	言語について正しい知識を持ち、適切に使うことができる。 漢字練習や意味調べを通して語彙を増やすことができる。	・授業観察 ・小テスト ・定期テスト
観点② 思考・判断・表現	みんなに聞こえる声で正確に読むことができる。自分の考えや気持ちを発表することができる。友だちの意見を的確に聞きとることができる。 丁寧で、読みやすい文章を書くことができる。意図や趣旨、自分の気持ち等をまとめて書くことができる。 文章の要旨をとらえ、自分の意見を持つことができる。	・授業観察 ・朗読 ・話し合いや発表での話し方、聞き方 ・話す・聞くテスト ・定期テスト
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	授業の約束事を守り、宿題・ノート整理等ができる。思ったことや感じたことを発表できる。 自らの学習を振り返り、今後の学習に生かすことができる。	・授業観察 ・ノート ・振り返りシート ・小テスト

授業の受け方	・持ち物や宿題を忘れないようにする。 ・提出物の期限を守る。 ・人の発表や発言はしっかりと聞き、自分の考えは挙手してはっきりと言えるようにする。 ・後で見た時に分かりやすいノートを作る。 ・自らの学習を振り返り、今後の学習に生かす。
--------	--

2年	国語
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	・見えないだけ ・アイスプラネット ・漢字に親しもう1 ・意見を聞き、整理して検討する	・作品のイメージを広げて朗読する。 ・登場人物の設定や人物像を捉え、考えたことをまとめる。 ・新出漢字を学ぶ。 ・音声を聞き、意見と根拠を表で整理する。	・語句の意味や表現の工夫に注意し、自分の経験と結び付けて内容を捉え、朗読することができる。 ・登場人物の言動や心情を表す表現などに注意して、作品を読み取ることができる。 ・新出漢字を身につける。 ・意見と根拠を表で整理し、根拠の適切さを検討する。
	5	・文法への扉1 単語をどう分ける？ ・魅力的な提案をしよう ・枕草子 ・クマゼミ増加の原因を探る ・思考の視覚化	・単語を働きや性質によって分類する。 ・資料を示してプレゼンテーションをする。 ・「枕草子」を音読し、自分が感じる四季の趣をまとめる。 ・文章の構成や図表との関係に注意して読み、考えたことを話し合う。 ・情報と情報の関係を整理する。	・活用する自立語について理解する。 ・資料や機器を活用して聞き手の心を動かすプレゼンテーションをすることができる。 ・作者のものの見方や感じ方に触れ、自分が感じる四季の趣と比べて、読み味わう。 ・文章の構成や展開、図表の効果に注意して、説明の工夫を捉えることができる。 ・情報と情報との関係を整理して、視覚的に表す方法を理解する。
	6	・情報を整理して伝えよう ・漢字1 熟語の構成 ・漢字に親しもう2 ・短歌に親しむ ・言葉の力	・職業ガイドを作る。 ・教材文を読み、熟語の構成の種類について学ぶ。 ・新出漢字を学ぶ。 ・短歌に歌われた情景や心情を想像して、感想を書く。 ・自分の知識や経験と結び付けながら、筆者の考え方について話し合う。	・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し、使うことができる。 ・熟語の構成の種類について理解する。 ・新出漢字を身につける。 ・短歌の情景や心情を描写する語句に着目し、語感を磨く。 ・さまざまな考え方に触れ、知識や経験と結び付けて考えを深める。
	7	・言葉1 類義語・対義語・多義語 ・メディアの特徴を生かして情報を集めよう ・読書を楽しむ ・翻訳作品を読み比べよう	・教材文を読み、類義語・対義語・多義語について理解し、語彙を広げる。 ・メディアの特徴を踏まえて、情報との付き合い方を考える。 ・読んだ本を紹介したり伝え合ったりする。 ・翻訳作品を読み比べる。	・類義語・対義語・多義語の意味や用法を理解し、語彙を広げる。 ・情報メディアの特徴を捉え、目的や状況に応じた情報収集のしかたを理解するとともに、情報を受け取るタイミングや発信するときの留意点を考える。 ・読書に対する意欲・関心を高める。 ・翻訳作品を読み比べ、翻訳の違いによる作品の印象の違いに気づき、翻訳作品に親しむ。
2	9	・ヒューマノイド ・字のない葉書 ・表現を工夫して書こう ・表現の効果を考える ・言葉2 敬語 ・聞き上手になろう	・登場人物の言動の意味を考え、自分の解釈を語り合う。 ・表現の効果に着目して読み、感じたことや考えたことを発表する。 ・手紙や電子メールを書く。 ・文章を推敲する。 ・教材文を読み、敬語の働きや種類について学ぶ。 ・友だちにインタビューをする。	・過去と現在、伏線と結末の関係を読み解き、登場人物の言動の意味を考える。 ・言動や様子、情景などの描写から、人柄や心情を捉え、自分の考えをもつことができる。 ・社会生活に必要な手紙や電子メールの書き方を身につけ、適切な通信手段を選ぶことができる。 ・表現の効果に着目して、文章を推敲することができる。 ・敬語の種類や特徴について理解し、状況に応じた適切な敬語の使い方を考える。 ・相手の思いや考えを引き出すための質問を考えることができる。
	10	・漢字2 同じ訓・音をもつ漢字 ・漢字に親しもう3 ・モアイは語る―地球の未来 ・思考のレッスン1 ・適切な根拠を選んで書こう ・月夜の浜辺 ・平家物語	・同じ訓をもつ漢字、同じ音をもつ漢字について学ぶ。 ・新出漢字を学ぶ。 ・文章の構成や論理の展開を吟味し、自分の考えを文章にまとめる。 ・根拠を吟味する。 ・意見文を書く。 ・言葉の響きやリズムを味わいながら聴く。 ・冒頭部分を朗読する。	・同じ訓をもつ漢字の意味や、文脈での使い分け、同じ音をもつ漢字の使い分けを理解する。 ・新出漢字を身につける。 ・知識や経験を基に、文章の構成や論理の展開、筆者の主張を吟味することができる。 ・根拠の適切さを吟味したり、意見に説得力をもたせたりする方法を身につける。 ・正解のない社会的な課題に目を向け、適切な根拠に基づいて、自分の考えを書くことができる。 ・詩の中の語句や表現の工夫に着目して詩を味わい、詩の世界を豊かに想像することができる。 ・漢語を巧みに交えた独特の調子とリズムを味わうとともに、「平家物語」の概要を理解する。
	11	・扇の的 ・仁和寺にある法師 ・漢詩の風景 ・君は「最後の晩餐」を知っているか ・思考のレッスン2	・登場人物のものの見方・考え方について、自分の考えをまとめる。 ・古文を読み、作者が何を伝えようとしているのか話し合う。 ・漢詩に描かれた情景や心情、構成や表現の効果を考え、朗読する。 ・文章の比較を通して気づいたことや考えたことを話し合う。 ・「具体化」「抽象化」の方法について理解する。	・作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむ。 ・古典の随筆に触れ、作者の人間観察の巧みさを味わう。 ・古典のものの見方や考え方を知り、漢詩の特徴を生かして朗読することができる。 ・観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考えることができる。 ・具体と抽象の概念について理解し、どのような場面で活用できるか考えることができる。
	12	・話し合いの流れを整理しよう ・文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 ・立場を尊重して話し合おう ・漢字に親しもう4 ・「自分らしさ」を認め合う社会へ	・進行役として話し合いの動画を視聴し、参加者からの意見をまとめる。 ・教材文を読み、動詞、形容詞、形容動詞の活用について学ぶ。 ・互いの立場や意見を尊重しながら討論する。 ・新出漢字を学ぶ。 ・二つの文章を、自分の知識や経験と結び付けて読み、感想を伝え合う。	・話し合いの流れを整理するために必要なことについて話し合い、考えをまとめることができる。 ・活用する自立語について理解する。 ・討論で視野を広げることができる。 ・新出漢字を身につける。 ・「自分らしさ」を認め合うことについて、読書を通して考えを広げたり、深めたりすることができる。

3	1	・走れメロス ・漢字に親しもう5 ・文法への扉3 一字違いで大違い ・描写を工夫して書こう	・観点を選んで分析し、自分が感じた作品の魅力を伝え合う。 ・新出漢字を学ぶ。 ・教材文を読み、付属語について学ぶ。 ・心の動きが伝わるように物語を書く。	・人物像や表現の効果など、自分の選んだ観点で作品の魅力を捉えることができる。 ・新出漢字を身につける。 ・付属語の意味・用法を理解する。 ・自分の体験を基に、描写を工夫して物語を書くことができる。
	2	・言葉3 話し言葉と書き言葉 ・漢字3 送り仮名	・「話し言葉」と「書き言葉」について学ぶ。 ・教材文を読み、送り仮名について学ぶ。	・「話し言葉」と「書き言葉」について理解し、実際のコミュニケーションに生かすことができる。 ・送り仮名の付け方の原則と例外を理解する。
	3	・国語の学びを振り返ろう ・鍵	・「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る。 ・詩を読み味わい、作者のものの見方について語り合う。	・「国語を学ぶ意義」について改めて向き合うとともに、交流を通して、自らの学びへの洞察を深めることができる。 ・詩を読んで感じたことを自分の経験と結び付け、考えを深める。

教科名	学年	週時間数
社会	2	3

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	『社会科 中学生の地理』（帝国書院）『中学校社会科地図』（帝国書院） 『新しい社会 歴史』（東京書籍）
副教材	『社会の自主学習 地理2』（新学社）『地理資料集 世界・日本』（新学社） 『社会の自主学習 歴史2・3』（新学社）『歴史の資料』（正進社）

指導の重点	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
教科のねらい	多面的・多角的な見方や考え方ができることを目標に、生徒の「学ぶ意欲」「思考力」を高めることを目指す。また、基礎的な知識を身につけることを通して自国の歴史・文化・国土・制度を理解し、他国の文化が尊重ができる国際人としての自覚を高める。 【表現力の指導】 自分の考えをまとめ、他者にわかりやすく発表する。小グループでの話し合いを通して、自分の考えをさらに深める。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	社会的な事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を正しく身につける。また、各種資料を読み取り、効果的に活用できる技能を身につける。	授業中の発表内容 ワークシート・レポートの資料 活用の内容 テスト
観点② 思考・判断・表現	社会的な事象から課題を見つけ、相互の関連をいろいろな角度から考え公正に判断する。 それらをまとめ文章で表現したり発表したりできる。【表現力】	授業中の発表内容 ワークシートの考察 レポートのまとめ方 振り返りシート テスト
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	学習内容への関心を持ち、授業や家庭学習において主体的に学習に取り組もうとする。	準備物 発表 振り返りシート ワークシート・レポート等の提出物 授業態度

授業の受け方	・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして着席しておこう。 ・黒板に書いたことや自分で気づいたことをノートに工夫してまとめよう。 ・わかったことや自分の考えを積極的に発表しよう。 ・ノート・ワーク等の課題に取り組み、提出期限を守ろう。 ・「つながり」を考えることが大切。つながりを考えるうえで土台となるのは「知識」ですが、「なぜ」（理由）を追求することを目指そう。
--------	--

2年	社会
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	〔地理〕 第3部 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域	①九州地方 ②中国・四国地方	・それぞれの都道府県の自然・文化・経済についてまとめることができる。
	5		③近畿地方 ④中部地方	・それぞれの都道府県の自然・文化・経済についてまとめることができる。
	6		⑤関東地方 ⑥東北地方	・それぞれの都道府県の自然・文化・経済についてまとめることができる。
	7		⑦北海道地方	・それぞれの都道府県の自然・文化・経済についてまとめることができる。
2	9	〔歴史〕 第4章 近世の日本	② 江戸幕府の成立と鎖国 ③ 産業の発達と幕府政治の動き	・江戸時代の初期から中期にかけての政治・経済・文化を系統的に考え理解することができる。
	10	第5章 開国と近代日本の歩み	①欧米における近代化の進展 ②欧米の進出と日本の開国	・欧米諸国がなぜ世界に先駆けて発展したのか考えることができる。 ・江戸幕府末期のできごとを諸外国とのつながりを理解したうえで考えることができる。
	11		③ 明治維新 ④ 日清・日露戦争と近代産業	・明治政府の考えを理解したうえで歴史的事象を考えることができる。 ・産業の近代化がもたらした社会の矛盾を資料から考える。
	12	第6章 二度の世界大戦と日本	① 第一次大戦と日本	・産業の発達と植民地政策を世界大戦と関連付けて考える。
3	1		②大正デモクラシーの時代	・大正デモクラシーについて理解し、現代と比較しながら考察する。
	2		③世界恐慌と日本の中国侵略 ④第二次世界大戦と日本	・世界恐慌の原因について理解するとともに、各国の対応などの違いを考える。 ・日本の大陸進出、軍国主義化の経緯を、地図などを用いて具体的に理解する。 ・ヨーロッパで起こった戦争が世界へと拡大していく経緯を理解する。
	3		④第二次世界大戦と日本	・第二次世界大戦について、日本が取った行動について国際的視野で考察する。

教科名	学年	週時間数
数学	2	3

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	『未来へひろがる 数学2』 (啓林館)
副教材	数学の学習ノート (正進社) 積み上げ (新学社)

指導の重点	学ぶ意欲 思考力 表現力 処理技能
教科のねらい	・授業に積極的に取り組み、数学に対する興味関心を持つ。 ・課題に対して、自分で考えたり、人の意見を取り入れて、解決に向けて取り組む。 ・基礎基本を確実に身につけ、それを利用して、課題が解決できる。 ・数学的な活動を通して、物事を多面的にとらえる力を身につける。 【表現力の指導】 ・具体的な事象を数学的に表現し、処理をする。 ・途中の式や考え方、理由を説明する。 ・数学的な表現を用いて学び合う場面設定を積極的に導入し、相互に伸びることを目指す。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	各単元における基本的な数や式、ことばの意味などを理解する。	・定期テスト ・自分なりに説明したり、自分なりの表現で答えたりすることも評価する。
観点② 思考・判断・表現	解法の手がかりを見つけたり、別な方法から考えたりする。 途中の式や考えを書き、答えを導き出す。【表現力】 具体的な事象を数学的に表現し、処理を行う。【表現力】	・レポート ・定期テスト ・結果だけでなく、途中の式や考え方も評価する。
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	提出物・準備物を忘れず、プリント等を整理し保管する。 授業態度（座る姿勢、私語、取り組み）をきちんとする。 発表する。 ノートには途中の計算式も書く。	・定期テスト・授業観察（発言・振り返りの記述など）・提出物（ワークブックなど）

授業の受け方	・授業に集中して取り組む。 ・提出物の期限を守る。 ・人の発表や発言はしっかりと聞く。 ・ノートは見やすく書く。 ・途中の式も書く。 ・グループ活動ではわからないところを互いに教え合う。 ・確実に理解するため、ワークブックや問題プリントでくり返し練習する。
--------	--

2年	数学
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	式の計算	式の加法, 減法 いろいろな多項式の計算 単項式の乗法, 除法	・文字式の計算ができる。
	5	連立方程式	文字式の利用 連立方程式とその解	・文字式を活用して説明ができる。 ・等式の変形ができる。 ・連立方程式とその解の意味を知る。
	6		連立方程式の解き方 連立方程式の利用	・連立方程式を解くことができる。 ・文章題が連立方程式でも解けることがわかる。
	7	一次関数	一次関数 一次関数の値の変化 一次関数のグラフ 一次関数の式を求めること	・1次関数が $y=ax+b$ の形で表せることがわかる。 ・1次関数の変化の割合が一定になることがわかる。 ・傾きと切片から1次関数のグラフをかくことができる。 ・グラフから傾きと切片を読みとり, 1次関数の式をつくることができる。
2	9		方程式とグラフ 連立方程式とグラフ 一次関数の利用	・2元1次方程式の解や連立方程式と1次関数のグラフとの関係がわかる。 ・具体的な事象を1次関数とみなし, それを問題解決に利用することができる。
	10	図形の調べ方	角と平行線 多角形の角 三角形の合同	・対頂角, 同位角, 錯角の性質が理解できる。 ・多角形の内角, 外角の和が理解できる。 ・三角形の合同条件を言うことができる。
	11	図形の性質と証明	証明とそのしくみ 証明の進め方 二等辺三角形	・証明の進め方が理解できる。 ・二等辺三角形の性質を知る。
	12		直角三角形の合同 平行四辺形の性質 平行四辺形になるための条件	・直角三角形の合同条件を言うことができる。 ・平行四辺形の性質が理解できる。 ・平行四辺形になる条件が理解でき, 証明に利用することができる。
3	1		いろいろな四角形 平行線と面積 四角形の性質の利用	・長方形, ひし形, 正方形の特徴がわかる。 ・等積変形で面積が等しい三角形をさがすことができる。
	2	場合の数と確率	確率の求め方 いろいろな確率 確率の利用	・確率の意味が理解できる。 ・数学的に確率を求めることができる。
	3	箱ひげ図とデータの活用 一年間のまとめ	箱ひげ図 データを活用して, 問題を解決しよう	・箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味が理解できる。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し, 箱ひげ図で表すことができる。

教科名	学年	週時間数
理科	2	4

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	未来へひろがるサイエンス2 (啓林館)
副教材	理科の自主学習 (新学社)、基礎をきずく (浜島書店)、最新理科便覧 (浜島書店)

指導の重点	学びに向かう力・人間性 理科の見方・考え方 表現力
教科のねらい	自然の事物・現象に対する関心を高める。 目的意識を持った実験・観察等を行い、科学的に探究する能力と態度を育てる。 自然の事物・現象についての理解を深める。 科学的な見方や考え方を養う。 【表現力の指導】 話し合い活動や発表を通して、自他の意見や考えを深め、まとめる。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	授業で学習した内容を説明することができる。 重要な語句・文章をきちんと書くことができる。 実験・観察等、器具を正しく安全に扱うことができる。 レポートを分かりやすく丁寧に書きまとめることができる。	定期テストにおける知識・技能 に関した得点 小テスト レポートの内容評価 実技テスト
観点② 思考・判断・表現	事物・現象についてすじみち立てて説明することができる。 科学的な理論に基づいて、計算で求めることができる。 自分の考えを人にわかりやすく伝えることができる。	定期テストにおける思考・判 断・表現に関した得点 小テスト レポートの内容評価
観点③ 主体的に学習に 取り組む態度	授業に積極的に参加することができる。 ・学習課題に対して粘り強く取り組むことができる。 ・自らの学習を調整しようと取り組むことができる。 自分の学習をしっかり振り返り、今後の学習に生かすことができ る。	行動評価 レポートの記述 授業プリント 振り返りシート

授業の受け方	授業に積極的に参加しよう。 私語はせずに、指示や発表・発言をしっかり聞き、自分の意見をしっかり発表しよう。 実験・観察においては、器具の扱いや手順をしっかり理解し安全に協力して参加しよう。 レポート・ワーク・プリント等の課題をきちんと仕上げ、期限を守って提出しよう。 自らの学習を振り返り、今後の学習に計画・修正・改善をして生かそう。
--------	--

2年	理科
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	【化学変化と原子・分子】 1章 物質の成り立ち 2章 物質の表し方	化学変化・化学反応 物質の分解 原子・分子 元素記号と化学式・化学反応式	・分解して生成した物質からもとの物質の成分が推定できることを見いだすことができる。 ・物質は原子や分子からできていることを理解する。 物質を化学式、化学変化を化学反応式でそれぞれ表すことができる。
	5	3章 さまざまな化学変化	物質の化合 酸化と還元 化学変化と熱の出入り	・さまざまな化学変化の実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いだすことができる。酸化と還元が同時に起きていることや、化学変化に伴う熱の出入りについても認識し、それらが日常生活にも多く利用されていることに気づく。
	6	4章 化学変化と物質の質量 【生物の体のつくりとはたらき】 1章 生物の体をつくるもの	化学変化の前後の物質全体の質量 細胞のつくり 細胞のはたらき	・化学変化の前後では物質の質量の総和が等しいこと、および反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いだすことができる。 ・生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること、および植物と動物の細胞のつくりの特徴を見だし理解する。
	7	2章 植物の体のつくりとはたらき	植物の体のつくりとはたらき (光合成・呼吸・蒸散)	・植物の葉や茎、根のつくりについての観察を行い、それらのつくりと、光合成、呼吸、蒸散のはたらきに関する実験の結果とを関連づけて理解する。
	9	3章 動物の体のつくりとはたらき 4章 動物の行動のしくみ	動物の体のつくりとはたらき (消化・吸収・呼吸・排出・血液の循環) 刺激と反応のしくみ	・消化や呼吸、血液の循環についての観察・実験を行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬しているしくみや不要となった物質を排出するしくみがあることを理解する。 ・刺激と反射のしくみを理解する。
2	10	【地球の大気と天気の変化】 1章 地球をとり巻く大気 2章 大気中の水の変化	圧力・気圧 気象観測 霧や雲のでき方 飽和水蒸気量	・地表にあるもののすべてに大気圧がはたらいていることを理解する。また、身のまわりの大気の状態を継続的に観測し、気象要素の変化と天気の変化の関係を見いだす。 ・霧や雲のでき方を、空気中の水の変化と関連づけて理解する。
	11	3章 天気の変化と大気の動き	天気図・気圧配置 低気圧・高気圧、前線	・気圧配置によって、大気の動きが生じることを理解する。また、日本付近の高気圧や低気圧の移動と、それに伴う天気の変化を、地球規模の大気の動きの一部として捉えることができる。
	12	4章 大気の動きと日本の四季	日本の四季	・大陸と海洋の温度差によって生じる大気の動きが、日本の気象に影響を与えることを理解する。さらに、日本付近で盛衰する3つの気団と関連づけながら、日本の四季の天気の特徴とそれが生じるしくみを理解する。
	1	【電流とその利用】 1章 電流の性質	回路 回路に流れる電流と加わる電圧 電圧と電流の関係 発熱量・電力量	・回路の基本的な性質や、電圧と電流の関係について規則性を見いだすことができる。
3	2	2章 電流の正体	静電気・陰極線 放射線とその利用	・日常生活と関連づけながら静電気の性質について調べ、静電気と電流には関係があることを見いだすことができる。また、真空放電の実験から、電流の正体について理解する。
	3	3章 電流と磁界	磁界 モーターのしくみ 発電機のしくみ(電磁誘導) 直流と交流	・電流がつくる磁界、磁界中の電流が受ける力、電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。 ・発電のしくみを理解する。

教科名	学年	週時間数
音楽	2	1

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	中学生の音楽 2
副教材	「MY SONG」(教育芸術社) 「音楽のハーモニー」(正進社)

指導の重点	「学ぶ意欲」「表現力」
教科のねらい	・授業で扱う内容について、興味関心をもって取り組める。 ・大きな声で表現することができる。 ・曲想にあった表現ができる。 ・仲間とともに音楽を表現できる。 ・様々な音楽文化に関心を持ち鑑賞できる。 【表現力の指導】 ・歌うことを通して自分を表現する力をつける。 ・歌うことを通して音楽を表現する力をつける。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	・音楽表現をするために必要な基本的な知識・技能を身につけている。	・定期テスト ・実技テスト ・授業観察
観点② 思考・判断・表現	・音楽を形づくっている要素を楽譜から読み取り、音楽活動に生かすことができる。 ・音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。	・定期テスト ・実技テスト ・鑑賞の記録 ・授業観察
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	・音楽活動に親しみながら、自ら進んで、また友達と協力して音楽学習に取り組もうとしている。 ・楽曲を完成させるために粘り強く取り組もうとしている。	・授業観察(活動の様子) ・忘れ物・提出物・発表 ・実技テスト

授業の受け方	・授業準備物を忘れないようにする。正しい服装で参加する。 ・話をよく聞き、授業に集中して参加する。 ・失敗や間違いを恐れずに素直な心で思いっきり表現する。
--------	---

2年	音楽
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	オリエンテーション 発声練習	- 授業の約束事を再確認する - 腹筋・呼吸の仕方を学ぶ。 「明日を向いて」	- 先生の話をきちんときける。 - 忘れ物をしない。 - 正しい服装で受けることができる。 - 歌唱に必要な発声法を学ぶ。
	5	鑑賞	「フーガ短調」	フーガのおもしろさを味わうことができる
	6	合唱	「夏の思い出」 「翼をください」 - 実技テスト	- 曲の構成と音の重なり方を理解して表現を工夫する。 - 旋律の特徴を感じとって響きある声で歌うことができる。
	7	クラスの歌声をつくろう 歌唱	「夏の思い出」 - 合唱コンクール課題曲 - パート練習のスタート	- パート練習に真面目に取り組むことができる。 - 情景を思い浮かべながら言葉を大切に歌うことができる。
2	9	合唱の喜び	- 合唱コンクール課題曲 - 合唱コンクール自由曲	パート練習に真面目に取り組むことができる。
	10	合唱の喜び	- 合唱コンクール課題曲 - 合唱コンクール自由曲	歌詞の内容を表現する楽しさを感じ取ることができる。
	11	合唱コンクールをふり返って 鑑賞 歌唱	- 実技テスト 「交響曲第5番ハ短調」 「荒城の月」	- 実技テストで、自分らしく音楽を表現することができる。 - 日本の伝統芸能に親しみ音楽と舞台の関わり、声の出し方、和楽器の音色を味わうことができる。
	12	創作	「リズム」	拍を感じながらリズムを打つことができる。
3	1	鑑賞	「勸進帳」 「卒業式歌」	- 曲の仕組みに注目して名曲を楽しむことができる。 - パート練習に真剣に取り組むことができる - 自分の2年間を振り返った合唱ができる。
	2	心を込めて歌おう	「卒業式歌」	- パート練習に真剣に取り組むことができる。 - 自分の2年間を振り返った合唱ができる。
	3	合唱	「ミュージカル鑑賞」	ミュージカルに親しみ、その音楽を味わう。

教科名	学年	週時間数
美術	2	1

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	「美術２・３」 光村図書
副教材	「新レタリング・ポスターの資料」 正進社 「美術資料」 秀学社

指導の重点	「感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現」 「目的や機能などを考えた表現」 「作品や美術文化などの鑑賞」 「色彩学習」共通項目
教科のねらい	・美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく意欲と態度を育てる。 ・対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身につけ、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。 ・自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	・美術の表現や鑑賞の活動の中で働き、活用されるような造形的な視点を豊かにするために必要な知識を身につけることができる。 ・材料や用具の特徴を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができる。 ・材料や用具、表現方法の特徴などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すことができる。	授業の様子、作品・アイデアスケッチ・ワークシート等の内容、制作態度全般、定期テスト
観点② 思考・判断・表現	・自分の感性を生かし、アイディアを膨らませ、自分の思いを形にすることができる。 ・友人や作家のさまざまな作品を鑑賞し合い、良さをお互いに尊重し、自分の思いや考えを自分の言葉でまとめることができる。	授業の様子、作品・アイデアスケッチ・ワークシート等の内容、制作態度全般、定期テスト
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組むことができる。 ・自ら問いや課題を発見し、習得した知識や技能などを活用しながら、問題を解決しようと考えることができる。	授業の様子、作品・アイデアスケッチ・ワークシート・感想文等の内容、制作態度全般、定期テスト

授業の受け方	・授業に意欲的、積極的に参加し、つくることの楽しさを実感できるようにしましょう。 ・チャイム着席、制作の準備・後片付けにしっかり取り組みましょう。 ・授業中は私語を慎み、自分のイメージをしっかり持って制作に励みましょう。 ・世界にたった一人しかいない自分の発想や作品のすばらしさに気付き、そこから芸術作品を尊重する気持ちを持ちましょう。 ・提出物は期日を守って必ず提出しましょう。
--------	--

2年	美術
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	オリエンテーション 色彩学習の取り組み方 鑑賞	美術の楽しみ、授業の形態、留意事項の説明。 色彩学習のファイルの使い方 作者の考えや、作品に対する思いを知り、作品に触れる。	授業を受ける姿勢、態度を身に付ける。 UDで色彩を学ぶ方法を知る。 作者の考えや作品に対する思いを理解することができる。
	5	季節感のある暮らし 色彩学習	四季折々の美しい地域の風情から特徴を探し地域の魅力を表現する。慣用色名の良さを知り、デザインにいかす。表現方法を工夫して制作する。 色を組み合わせる配色について学ぶ	四季折々の季節感を取り入れてきた日本の文化に興味を持ち主題をもとに形や色、材料などの構想をねる。
	6	季節感のある暮らし 色彩学習	日本の文化について考える。 和菓子について知る。 和菓子のデザインを発想する。 日本の伝統色	四季折々の季節感を取り入れてきた日本の文化に興味を持ち主題をもとに形や色、材料などの構想をしてモチーフの形や構造を理解し、デザインに沿った任意の色で色付けができる。
	7	メッセージを伝える ビジュアルデザイン 本物を見よう	多くの人にメッセージが伝わるようにポスターのアイデアを考える。 三重県立美術館の作品を鑑賞してプレゼンテーションする。	多くの人に訴えたいことが伝わるアイデア豊かなポスターが描ける。 本物を鑑賞してその魅力を多くの人に発表できる。
2	9	レオナルドとその時代 遠近法を使う	レオナルドダヴィンチの「最後の晩餐」を鑑賞し、作者の表現の意図や工夫を感じ取る。	色や形が感情にもたらす効果や遠近法などルネッサンスの美術をとらえる。
	10	水墨画 郷土の伝統工芸品 (鈴鹿墨)	墨の濃淡やかすれにじみなどの効果を試してみたり技法を活用し、墨と親しむ	水墨画の歴史を知る。 いくつもの技法の中から、テーマや描く対象に合った技法を選び表現することができる。
	11	水墨画 篆刻	墨の表現の豊かさや余白の美しさを生かして、自分の個性を引き出す。掛け軸を制作する。自分の名前の篆刻を制作する。篆刻を捺印する。	四季や自然をテーマに単純化や省略を使うことができる。 陰刻と陽刻の違いを知ることができる。
	12	鑑賞 海を越えて	作者の考えや、作品に対する思いや日本の美術が西洋に与えた影響を知り、作品に触れる。	作者の考えや作品に対する思いを理解することができる。
3	1	日本らしい表現を学ぼう	紙を素材にした、作品を鑑賞し体験する。伊勢型紙の歴史や着物について学ぶ 西洋にあたえた影響をやこれからの活用（ランブシェードやその他のデザイン）を知る。	素材の特性を知り、型地紙の良さを生かして制作ができる。
	2	日本らしい表現を学ぼう 鑑賞 絵巻物と漫画	鳥獣人物戯画と火の鳥を鑑賞する	時代を越えた表現の共通点や違い日本の表現と西洋の表現の違いを考えることができる。
	3	生徒作品の鑑賞	鑑賞シートを使って、鑑賞を行う。	他の作品を見て自分とは違う考えや表現を知り、良さを感じることができる。

	学年	週時間数
保健体育	2	3

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	「中学保健体育」(学研)
副教材	「図解中学体育」(暁教育図書) 「学習の達成」(新学社)

指導の重点	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度
教科のねらい	・ 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ・ 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ・ 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	授業観察 学習カード 定期テスト 実技テスト
観点② 思考・判断・表現	運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	授業観察 学習カード 定期テスト
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に自主的に取り組もうとしている。	授業観察 学習カード

授業の受け方	・ 授業時間を守る。 ・ 先生の指示をしっかりと見て、聞いて理解する。 ・ 自分の力を精一杯発揮し、運動を楽しむ。 ・ 課題を解決するために仲間と協力して取り組む。 ・ 道具・施設を大切にする。ルールやマナーを守り、安全に活動する。 ・ 目標をもって、自主的に活動する。
--------	--

2年	保健体育
----	------

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	集団行動 体力テスト	集団行動 体力テスト	・姿勢、方向転換、集合、点呼を学校生活の場で活用する。 ・体力の測定方法や測定結果を知り、昨年度の記録を上回ろうとする。
	5	体づくり運動 陸上競技	体ほぐしの運動 体の動きを高める運動 短距離走・リレー	・仲間と協力し合って、体づくり運動を楽しもうとする。 ・自己の最大スピードを高めたり、チームのタイムを短縮したり、競争したりできるようにする。
	6	球技 球技 体育理論	ハンドボール バスケットボール 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	・空間に仲間と連携して走りこみ、マークをかわしてゴール前での攻防を展開できるようにする。 ・役割に応じたボール操作や連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができるようにする。 ・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について理解しようとする。
	7	球技 球技	ハンドボール バスケットボール	・空間に仲間と連携して走りこみ、マークをかわしてゴール前での攻防を展開できるようにする。 ・役割に応じたボール操作や連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができるようにする。
				健康 な 生 活 と 病 気 の 予 防 ② ／ 傷 害 の 防 止 保 健
2	9	球技 器械運動	ソフトテニス マット運動	
	10	球技 器械運動	ソフトテニス マット運動	
	11	陸上競技 体育理論	長距離走 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	
	12	陸上競技 体育理論	長距離走 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	
3	1	球技 球技	卓球 サッカー	
	2	球技 球技 体育理論	卓球 サッカー 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	
	3	器械運動	跳び箱運動	

教科名	学年	週時間数
技術	2	1

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	新編「新しい技術・家庭 技術分野」東京書籍
副教材	

指導の重点	・技術（Technology）を活用した問題解決に関する知識・技能、思考力・判断力・表現力 ・知識・技能、思考力・判断力・表現力を身につけるために主体的に試行錯誤する態度
教科のねらい	下記の活動を通して、技術の見方・考え方をいかして、技術的に問題を解決するための知識、技能や思考力・判断力・表現力を身につける ・技術に関する原理や法則、基礎的な技術の仕組みを理解する ・生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定する ・解決方策が最適なものとなるよう設計・計画し、製作・制作・育成を行う ・解決方策の結果や解決過程を評価、改善する

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	・技術の原理や法則に関する内容の知識、技能 (例) エネルギーや生物育成に関する知識、加工技能	・小テスト、定期テスト、ワークシートなど ・技能テスト、製作物、製図など
観点② 思考・判断・表現	・問題を解決するための設計・計画のための思考・判断・表現 (例) 問題を解決するための根拠をもった設計図	・ワークシート、設計図、解決策の評価、レポート ・協同的な問題解決場面における対話的な活動の観察
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	・試行錯誤しながら、問題解決に向けて考えようとする態度 ・問題解決に向けて、自己の考えの振り返りと改善	・知識や技能を身につけるための活動の観察 ・ワークシートや設計図、レポート等に関する試行錯誤

授業の受け方	・問題解決に向けて、自分の考えをもつとともに、他の人の考えを尊重し、よりよい解決方法を考えましょう。 ・製作や制作については、安全に配慮しながら行うようにしましょう。また、服装については怪我の防止や破損を避けるためジャージが望ましいです。 ・コンピュータの利用については、情報収集や利用については情報モラルを守り、正しく使いましょう。
--------	---

2年	技術
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	・生物育成の技術	・生物育成の基本的な技術について学習する ・ミニトマトを題材として、栽培計画や管理技術について学習する	・生物育成の基本的な技術を知る ・作物の管理技術について知り、適切な管理技術を選択することができる
	5	・生物育成の技術	・ミニトマトを題材として、栽培計画や管理技術について学習する ・飼育や水産生物の栽培について学習する	・作物の管理技術について知り、適切な管理技術を選択することができる ・飼育や水産生物の栽培について学習する
	6	・生物育成の技術	・ミニトマトを題材として、栽培計画や管理技術について学習する	・作物の管理技術について知り、適切な管理技術を選択することができる
	7	・生物育成の技術	・ミニトマトを題材として、栽培計画や管理技術について学習する	・作物の管理技術について知り、適切な管理技術を選択することができる ・生物育成の技術について評価する
2	9	・エネルギー変換の技術	・エネルギー変換の基礎的な技術について学習する	・エネルギー変換の基礎的な技術を知る
	10	・エネルギー変換の技術	・エネルギー変換の技術を活用した製品の構想・設計を行う	・電源や負荷、スイッチ（センサ）の利用方法を考えながら問題を解決するための設計・製作ができる
	11	・エネルギー変換の技術	・電気回路の製作と実験を行う	・電気回路の製作と実験を通して、電気回路の仕組みや工夫について知る
	12	・エネルギー変換の技術	・電気回路の製作と実験を行う	・電気回路の製作と実験を通して、電気回路の仕組みや工夫について知る
3	1	・緊急地震速報を題材とした情報の技術	・情報の基礎的な技術を知る	・緊急地震速報の技術についてレビューしながら、情報の技術の基礎的な内容を知る
	2	・緊急地震速報を題材とした情報の技術	・情報の技術を活用した設計・プログラム制作を行う	・センサ、ネットワーク通信、アクチュエータを活用した問題解決方法を構想、設計し、プログラミングができる
	3	・緊急地震速報を題材とした情報の技術	・情報の技術を活用した設計・プログラム制作を行う	・センサ、ネットワーク通信、アクチュエータを活用した問題解決方法を構想、設計し、プログラミングができる

教科名	学年	週時間数
家庭	2	1

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して (東京書籍)
副教材	新家庭科総合資料(正進社)

指導の重点	自分の身の回りの生活への関心、生活を豊かにするための工夫、生活にかかわる基本的な技能
教科のねらい	○衣食住などの生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技術を習得することにより、生活の自立を目指す。 ○自分の家庭を取り巻く社会や環境に関心を持ち、生活をよりよく豊かに創造しようとする能力と態度を育成する。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	自分の身の回りの衣食住などの生活について理解し、基礎的・基本的な知識や技術を身に付けている。グループ活動では、仲間を思いやり、協力して作業を進めることができる。実習では、安全面に配慮しながら作業に取り組むことができる。	テスト 提出物 実習の様子（取り組み方） 作品（完成度）
観点② 思考・判断・表現	自分の身の回りの生活をよりよくするための工夫について考えている。作品に、自分らしさを表現できている。課題について調べた事柄を工夫してまとめている。	授業の様子（発言の内容） 提出物 作品（工夫・表現） 授業プリント
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	話をしっかり聞き、自分なりの意見を持ち、発表ができる。授業プリントやワークシートなどを丁寧にまとめることができる。授業に必要な持ち物を忘れずに準備し、提出物の期限を守れている。グループ活動や実習では、仲間を思いやり、協力して作業を進めることができる。	授業の様子（発言・活動・態度） 実習の様子（取り組み方） 準備物 提出物 授業プリント

授業の受け方	・自分の日常生活に関心を持ち、課題を解決していくための手だてを考えよう。 ・授業や課題には集中して取り組み、実習では安全面に配慮して取り組もう。 ・学んだことは、必ず自分の生活に役立てていこう。 ・持ち物などの忘れ物をしないようにしよう。 ・提出物は期限を守ろう。
--------	--

2年	家庭
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	6編 私達の成長と家族・地域 1章 家族・家庭生活での自立 2章 幼児の生活と家族	家庭生活の協力・協働 幼い頃の振り返り 幼児の体の発達	・自分や家族を支える家庭内外の仕事について理解できる。 ・自立に向けて中学生の自分にできることを考え、工夫できる。 ・幼い頃を振り返り、周囲の人との関わりの大切さに気づくことができる。 ・幼児の体の発達の特徴について理解できる。
	5	2章 幼児の生活と家族	幼児の心の発達 幼児の1日の生活	・幼児の心の発達の特徴について理解できる。 ・幼児の1日の生活の特徴について理解できる。
	6	2章 幼児の生活と家族	支えられて身につける生活習慣	・幼児の生活習慣と、生活習慣を支える家族の役割について理解できる。
	7	2章 幼児の生活と家族	幼児の生活と遊び 遊びを豊かにする物	・幼児にとっての遊びの意義を理解できる。 ・幼児の遊びを豊かにする物について理解できる。 ・幼児の遊びを豊かにする方法を考え、幼児との関わり方を工夫できる。
2	9	2章 幼児の生活と家族	幼児の関わり方の工夫	・幼児の発達や遊びなどを踏まえ、触れ合い体験を計画できる。 ・計画に基づいて触れ合い方を工夫し、幼児と関わるることができる。
	10	2章 幼児の生活と家族	幼児との関わりを生活に生かす。 子供にとっての家族	・幼児との関わり方について理解できる。 ・幼児を観察したり、実際に触れ合ったりすることを通して、幼児についての理解を深める。 ・子供が育つ環境としての家族の役割について理解できる。 ・家族の立場から子供との関わり方を考え、これからの自分の家族や周囲の人との関わり方を工夫できる。
	11	2編 私達の食生活 3章 調理のための食品の選択と購入	食品の選択と購入 生鮮食品の特徴 加工食品の特徴	・食品の選択と購入のために必要な情報について理解できる。 ・用途に応じた食品を考え、適切に選択できる。 ・生鮮食品の特徴や表示の内容について理解できる。 ・加工食品の特徴や表示の内容について理解できる。
	12	3章 調理のための食品の選択と購入 4章 日常食の調理と地域の食文化	食品の保存と食中毒の防止 日常食の調理	・食品の適切で安全な扱い方について理解できる。 ・安全や衛生、食品の性質、調理の技能等を踏まえ、工夫して1食分の調理を計画できる。 ・計画に沿って、適切に調理することができる。
3	1	4章 日常食の調理と地域の食文化	日常食の調理 野菜・いもの調理	・野菜・いもの調理上の性質について理解できる。 ・野菜・いもの調理上の性質を踏まえ、工夫して調理できる。
	2	4章 日常食の調理と地域の食文化	肉の調理 魚の調理 日本の食文化と和食の調理	・肉・魚の調理上の性質について理解できる。 ・肉・魚の調理上の性質を踏まえ、工夫して調理できる。 ・日本の食文化について理解できる。
	3	5章 持続可能な食生活	持続可能な食生活を目指して	・持続可能な食生活を目指して、課題とその解決方法を考え、食生活を工夫できる。

教科名	学年	週時間数
英語	2	4

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	NEW HORIZON English Course 2 (東京書籍)
副教材	JOYFUL WORKBOOK 2 (新学社) 積み上げ (明治図書)

指導の重点	学ぶ意欲 表現力 言語活動
教科のねらい	1. はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を聞き取ることができる。【聞くこと】 2. 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。【読むこと】 3. 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。【話すこと（やり取り）】 4. 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。【話すこと（発表）】 5. 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を書くことができる。【書くこと】

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	・音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解する。 ・その知識を実際のコミュニケーションにおいて活用する。	定期テスト 授業観察 パフォーマンステスト インタビューテスト ワークシート等
観点② 思考・判断・表現	・必要な情報や考えなどを捉える。 ・事実や自分の考え、気持ちなどを表現する。 ・互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合う。 ⇒コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりする。	定期テスト 授業観察 パフォーマンステスト インタビューテスト ワークシート等
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	・知識や技能を習得したり、思考力・判断力・表現力を身に付けたりするために、自分の学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤している。 ⇒自分の学習を調整しながら、学ぼうとしている。	授業観察 パフォーマンステスト インタビューテスト 振り返りシート ワークシート等

授業の受け方	・指示や説明、発表をしっかりと聞く。 ・間違いを恐れず、積極的に英語を使ってコミュニケーションを取ろうとする。 ・ペアやグループで協力し、学びあう雰囲気をつくる。 ・わからないところや気になるところがあれば、先生や友だちに質問して解決する。 ・自分が取り組んだことを振り返り、学びにつなげるようにする。 ・その日学習したことを、家庭で副教材等を使って復習する。
--------	---

2年	英語
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	Unit 0 Unit 1	- 動詞の過去形 - be going to - 助動詞 will - SV00 - SV0C	クラスメートのことをよりよく知るために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを伝え合うことができる。
	5	Real Life English 1 Grammar for Communication 1 Unit 2 Real Life English 2 Grammar for Communication 2	- be going to - 助動詞 will 5つの文構造 - 接続詞when - 接続詞if - 接続詞because - 接続詞that - May I ~? Could you ~?	- 機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 5つの文構造の形・意味・用法を整理し、理解を確かめる。 - 好きな食べ物について、理由や考えとともに紹介することができる。 - 場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。 - 接続詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、理解を確かめる。
	6	Unit3 Real Life English 3 Learning Technology in English Grammar for Communication 3	- 不定詞（目的を表す副詞的用法） - 不定詞（原因を表す副詞的用法） - 不定詞（形容詞的用法） - It is ... + to - Thank you for ~. - My pleasure. - 不定詞、It is ... + to	- 将来像や夢などについて考え、取り組んでいきたいことについて説明することができる。 - インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。 - ロボットが活躍する社会について考えるために、ロボットの用途や長所をまとめ、考えを伝え合ったり書いたりすることができる。 - 不定詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
	7	Stage Activity 1 Let's Read 1	既習事項の総復習	- 自分のいちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。 - 説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。
2	9	Unit 4 Real Life English 4 Grammar for Communication 4	- have to, do not have to - 助動詞must, must not - 動名詞（目的語） - 動名詞（主語） - I look forward to ~ - 助動詞	- 海外との生活習慣や文化の違いを知り、取るべき行動についての考えを伝えることができる。 - お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。 - 助動詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
	10	Unit 5 Real Life English 5 Learning Social Studies in English	- 疑問詞+to - 主語+動詞+人+疑問詞+to - 主語+be動詞+形容詞+that - Why don't you ~?	- だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えることができる。 - 展示・販売会で流れるアナウンスやスタッフの案内を聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。 - 持続可能な社会について考えるために、SDGsの目標について理解し、取り組んでいきたいことを考えることができる。
	11	Unit 6 Real Life English 6 Grammar for Communication 5 Stage Activity 2	- 比較表現（...er, the ...est） - 比較表現（more..., the most） - 比較級・最上級（better, best） - 比較表現（as...as~） - Could you tell me how to get to ...? - Take ... - 主語+動詞+人+疑問詞+to - 比較表現 - 既習事項の総復習	- 身近なトピックについて調査を行い、データを比べて発表することができる。 - 状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えることができる。 - 比較表現を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 - 自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら説明することができる。
	12	Let's Read 2	既習事項の総復習	物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。
3	1	Unit 7	- 受け身（平叙文） - 受け身（疑問文） - 受け身（by...つき） - 受け身（助動詞つき）	世界遺産について知り、その特徴や価値を説明することができる。
	2	Real Life English 7 Grammar for Communication 6 Stage Activity 3	- May I...? - Yes, please. I'm looking for ... - 受け身 - 既習事項の総復習	- 自分の好みや要望を伝えながら買い物をすることができる。 - 受け身を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 - 自分たちの町の将来について考えるために、自分の立場を明確にして、意見を述べるすることができる。
	3	Let's Read 3	既習事項の総復習	人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。

教科名	学年	週時間数
道徳	2	1

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	中学道徳あすを生きる 1（日本文教出版）
副教材	

指導の重点	・ 望ましい生活習慣を身につけるとともに、集団行動のルールを守り、責任のある行動ができる。 ・ 自他の生命を大切にする態度を養う。 ・ 学習や体験を通して気づいた様々な人権問題について考えることができる。
教科のねらい	人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

	評価場面 評価方法
・ 数値による評価ではなく、記述式とする。 ・ 個々の内容項目ごとではなく、大きくくりなまとまりを踏まえたものとする。 ・ 他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価とする。 ・ 道徳科の学習活動における生徒の具体的な取り組み状況を一定のまとまりの中で見取ること。 ・ 学習活動において生徒がより多面的多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身とのかかわりの中で深めているかといった点を重視する。	・ 授業観察（発表、態度等） ・ グループ活動（発表、態度等） ・ ワークシート

授業の受け方	・ 自分の想いをワークシートに書けるようにする。 ・ 人の発表や発言はしっかりと聞き、自分の考えをはっきりと言えるようにする。 ・ 話し合いを通して、自分の想いや考えを深め、それをまとめることができる。
--------	---

2年	道徳
----	----

学習年間計画

通算 (回)	月	内容項目		資料・教材名	ねらい
1		D-(22)	よりよく生きる喜び	自分の弱さと戦え	自らの弱さを自覚し、それを克服しようとする強さをもち、人間として高く生きようとする態度を育む。
2	4	C-(13)	勤労	おばちゃんのくれた“おまじない”	自分の仕事に誇りをもち、働く喜びを得ることが充実した生き方につながることを理解して、主体的に将来の生き方を考えようとする意欲を育てる。
3		B-(7)	礼儀	挨拶は言葉のスキンシップ	心と形が一つになった礼儀や作法の意義に気付き、相手を尊重する心を込めて、形に表していこうとする態度を養う。
4		D-(19)	生命の尊さ	最後のパートナー	命がかけがえのないものであることを理解し、自他の生命を尊重する心を育て、周りの人と支え合って生きることへ感謝する心情を養う。
5		A-(1)	自主、自律、自由と責任	五月の風－カナー	自主的に考え、判断し、誠実に実行していこうとする判断力を育成する。
6	5	B-(8)	友情、信頼	五月の風－ミカー	互いに励まし合い、高め合う本当の友達をつくろうとする態度を育てる。
7		B-(8)	友情、信頼	体育祭りレーメッセージ	体育祭のクラス全員リレーにおいて、互いの気持ちや意気込みを共有することを通して、他への思いやりの心や相互に協力し合おうとする実践意欲を育てる。
8		B-(6)	思いやり、感謝	名乗り出なかった友	相手の立場を尊重したさりげない親切やいたわりの行動が多様な感謝を生むことを理解し、潤いのある温かな人間関係を築こうとする態度を養う。
9		A-(5)	真理の探究、創造	戦争を取材する	真理や真実を求め、理想の実現を目指して、よりよく生きようとする態度を育てる。
10	6	C-(18)	国際理解、国際貢献	海と空－檜野の人々	世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする態度を育てる。
11		D-(22)	よりよく生きる喜び	子どもの権利条約	すべての子どもには自分らしく生きる権利があるということを知り、それらが侵されることのないよう、積極的に行動しようとする態度を育てる。
12	7	C-(11)	公正、公平、社会正義	人権作文	身近な人権問題について考え、問題に対する自分の考えを表現することをおして、すべての人間が安心して自分らしく生きることができる社会を実現しようとする態度を育てる。
13		C-(10)	遵法精神、公德心	美しい鳥取砂丘	互いに住みよい社会を目指す精神の大切さを理解し、調和と規律を保つための法やきまりを進んで守ろうとする態度を育てる。
14		C-(16)	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	和樹の夏祭り	郷土の伝統と文化を大切にし、地域社会の一員としての自覚をもって、進んで郷土の発展に努めようとする実践意欲や態度を育てる。
15	9	C-(11)	公正、公平、社会正義	ヨシト	偏見を正し正義を貫こうと決意する主人公の姿に共感することをおして、正義を重んじ、偏見や差別をなくしていこうとする態度を育てる。
16		A-(1)	自主、自律、自由と責任	ネット将棋	誠実に行動することの大切さを理解し、自主的に行動しその結果に責任をもとうとする態度を育てる。
17		D-(21)	感動、畏敬の念	樹齢七千年の杉	自然の美しさや神秘さ、偉大さを感じ、人間の力を遥かに超えたものに対する畏敬の念を深め、豊かな心を育てる。
18		A-(3)	向上心、個性の伸長	「自分」ってなんだろう	人それぞれ必ずその人固有のよさがあり、その発見と自己受容・自己理解に努め、自分らしさを発揮できる生き方を求める。
19	10	C-(13)	勤労	小さな工場の大きな仕事	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労をとおして社会に貢献しようとする態度を養う。
20		C-(15)	よりよい学校生活、集団生活の充実	人権フォーラム	身近な人権問題について考えることをおして、すべての生徒が安心して自分らしく過ごすことができる学校生活を実現しようとする態度を育てる。
21		D-(19)	生命の尊さ	体験ナースをとおして	かけがえのない命を与えられていることに気付いて感謝し、自他の生命を尊重しようとする実践意欲を培う。
22		C-(12)	社会参画、公共の精神	行動する建築家 坂 茂	社会参画の意識を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現のために貢献しようとする態度を育む。
23	11	C-(17)	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	さよなら、ホストファミリー	国際社会に生きる日本人としての自覚をもち、我が国を愛する心情を育てる。
24		B-(6)	思いやり、感謝	夜のくだもの屋	人間は多くの人々の善意や思いやりによって支えられ、守られていることに気付き、感謝する態度を育てる。
25		A-(4)	希望と勇気、克己と強い意志	初心	目標や希望をもって生活することの大切さや意義を理解し、その達成を目指し、困難などがあっても強い意志でやり遂げようとする態度を育てる。
26	12	C-(10)	遵法精神、公德心	オーストリアのマス川	きまりは幸福な社会を実現するためにあるということを認識し、それを遵守しようとする判断力を育む。
27		D-(20)	自然愛護	よみがえれ、えりもの森	人間は自然界のつながりの中で多くの恩恵を受けており、その有り難さに感謝するとともに、自然を守り行動しようとする態度を育む。
28	1	C-(18)	国際理解、国際貢献	ダショー・ニシオカ	それぞれの国の伝統と文化に各国民が誇りを持っていることを理解し、その上で日本人として国際協力を積極的に行おうとする態度を培う。
29		B-(9)	相互理解、寛容	コトコの涙	人にはさまざまな考え方があることを理解し、自分の考えを伝えつつ、わかり合い、他に学ぼうとする謙虚な態度を育てる。
30		B-(8)	友情、信頼	卒業メッセージ	卒業生にメッセージを伝えることを通して、先輩に対する感謝の心や、伝統・文化を大切に受け継いでいこうとする態度を育てる。
31	2	C-(12)	社会参画、公共の精神	門掃き	「門掃き」をとおして、社会連帯にある相互扶助や思いやりの心を知ることにより、よりよい社会を生み出す主体者として行動しようとする実践意欲を養う。
32		A-(2)	節度、節制	避難所にて	節度ある生活や節制に心掛けるために、周りの人の生活を見つめることで自分の生活を見直し、思慮深く内省しようとする態度を養う。
33		D-(19)	生命の尊さ	命を見つめて－猿渡瞳さんの六百四十六日－	限りある生命を懸命に生きることの大切さを理解し、互いに支え合って生きようとする心情を養う。

34	C-(17)	我が国の伝統と文化の尊重，国を愛する態度	包む	我が国の優れた伝統と文化についての理解を深め，そこに込められた「日本人の心」に気づき，大切にしようとする心情を育てる。
35	C-(14)	家族愛，家庭生活の充実	きいちゃん	自分も家族にとってかけがえのない存在であることに気づき，家族の一員としての役割を果たそうとする心情を育てる。